

# ローマ 11

“ところが彼に対して何とお答えになりましたか。「バアルにひざをかがめていない男子七千人が、わたしのために残してある。」

それと同じように、今も、恵みの選びによって残された者がいます。

もし恵みによるのであれば、もはや行いによるものではありません。もしそうでなかったら、恵みが恵みでなくなります。”

**ローマ人への手紙 11章 4～6節**

“行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。”

**エペソ人への手紙 2章 9節**

“それは、神がその愛する方にあつて私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。”

**エペソ人への手紙 1章 6節**

“あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。”

**詩篇 37篇 5節**

“もしも、枝の中のあるものが折られて、野生種のオリーブであるあなたはその枝に混じってつがれ、そしてオリーブの根の豊かな養分をともに受けているのだとしたら、あなたはその枝に対して誇ってはいけません。誇ったとしても、あなたが根をささえているのではなく、根があなたをささえているのです。

枝が折られたのは、私がつぎ合わされるためだ、とあなたは言うでしょう。

そのとおりです。彼らは不信仰によって折られ、あなたは信仰によって立っています。高ぶらないで、かえって恐れなさい。

もし神が台木の枝を惜しまれなかったとすれば、あなたをも惜しまれないでしょう。

見てごらんください。神のいつくしみときびしさを。倒れた者の上にあるのは、きびしさです。あなたの上にあるのは、神のいつくしみです。ただし、あなたがそのいつくしみの中にとどまっていればであつて、そうでなければ、あなたも切り落とされるのです。

彼らであつても、もし不信仰を続けなければ、つぎ合わされるのです。神は、彼らを再びつぎ合わすことができるのです。”

**ローマ人への手紙 11章 17～23節**

“わたしにとどまりなさい。わたしも、あなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木についていなければ、枝だけでは実を結ぶことができません。同様にあなたがたも、わたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。

わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。”

**ヨハネの福音書 15章 4～5節**

“神にとって不可能なことは一つもありません。”

**ルカの福音書 1章 37節**

“こうして、イスラエルはみな救われる、ということです。こう書かれているとおりです。  
「救う者がシオンから出て、ヤコブから不敬虔を取り払う。」

**ローマ人への手紙 11章 26節**

“その後、わたしは、わたしの霊をすべての人に注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、  
年寄りも夢を見、若い男は幻を見る。

その日、わたしは、しもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。”

**ヨエル書 2章 28～29節**

“ペテロがなおもこれらのことばを話し続けているとき、みことばに耳を傾けていたすべての人々に、聖霊がお下りになった。

割礼を受けている信者で、ペテロといっしょに来た人たちは、異邦人にも聖霊の賜物が注がれたので驚いた。”

**使徒の働き 10章 44～45節**

“まことに、水が海をおおうように、地は、主の栄光を知ることによって満たされる。”

**ハバクク書 2章 14節**

“神の賜物と召命とは変わることがありません。”

**ローマ人への手紙 11章 29節**

“なぜなら、神は、すべての人をあわれもうとして、すべての人を不従順のうちに閉じ込められたからです。”

**ローマ人への手紙 11章 32節**

“というのは、すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るからです。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。”

**ローマ人への手紙 11章 36節**

“これは、神の御前でだれをも誇らせないためです。”

**コリント人への手紙 第一 1章 29節**

“まさしく、「誇る者は主を誇れ」と書いてあるとおりになるためです。”

**コリント人への手紙 第一 1章 31節**